

実績紹介

納入先	ご利用形態	ご採用頂いたポイント
国の行政機関 様	スタジオBB TV会議システム	ご採用ポイントは、議長主導でTV会議が進行でき、利用環境に応じた帯域設定が容易に出来る点にありました。ISDNの環境でも利用されています。操作が簡単で、庁内のスタジオBBご利用率はますます高まっています。過去の会議録を閲覧しながら進行できる！と大変喜ばれています。
地方行政機関 様	スタジオBB 災害画像配信システム	ご採用ポイントは、災害などの緊急時に、手軽にすばやく利用出来る点にありました。FOMAカードを利用した移動型画像配信機器とスタジオBBを組合せたシステムです。災害現場へ到着した隊員が、伝送速度384kbpsのFOMA通信網を経由し映像を対策本部へ配信します。緊急時に即座に現場へ駆けつけて、災害画像を配信し、司令室からの指示によって必要な映像を配信、その映像は記録・保存され、後日現場解析のため、アーカイブ再生によって活用します。
地方行政機関 様	スタジオBB 生涯学習支援システム	採用のポイントとなったのは、生涯学習に必要とした機能をリーズナブルな価格で提供した事がありました。広域合併にともない、地域住民全員が参加しやすくする事、生涯学習コストを抑制する事を目的とし、30拠点に及ぶ会場（学校、公民館、役場）にPC端末を設置し、講師のライブ映像を大画面で配信、その後の質問や交流はネットワーク上で実現しています。なお、オンデマンド教育で課題となるコンテンツ著作権の問題をクリアしていた点もご採用頂いた大きなポイントです。
三次市 様	スタジオBB 行政窓口端末	広島県三次市は、2004年4月、行政改革の推進により、周辺7町村との合併によって誕生しました。合併に伴う各種行政手続きの変化により住民が混乱を起ささないよう、相談や問い合わせが、距離や時間の制限を超えて、住民へ均等にサービスされる仕組みとして、スタジオBBのTV会議システムが採用されました。 導入効果：(1)三次市役所および小学校や小中学校、公民館などおよそ150箇所の施設への導入を、わずか1ヶ月で達成しました。 (2)導入コストを、当初採用予定の競合他社にくらべて3分の1まで削減させました。 (3)三者による対話において、双方が15フレーム/秒、高画質、高音質を保ち、スムーズなコミュニケーションが可能となりました。
某国立大学 様	スタジオBB e-Learning	本郷と地方の理学部大学院の遠隔ゼミに活用中です。大学教授が客員教授をしている中国地域の大学との遠隔教育にも活用中で、電話やメールのやりとりと違い、顔を見てコミュニケーションが出来るので、先生と接する機会が増えた！と生徒さんにも好評です。
広島大学 様	スタジオBB TV会議システム	広島大学大学院国際協力研究科は、アジアを中心に教育や研究水準の向上や世界をリードする創造的人材を育成していくため、開発途上国の学生を積極的に受け入れています。帰国された留学生に対するオンラインによる継続教育や、国内外の協同研究者等との研究打合せ会議、国内外の関連機関とのネット会議、学内部局でのネット会議など、インターネットを活用した円滑なコミュニケーションを図るために、スタジオBBをご採用頂きました。ご採用のポイントは、比較的低速で不安定なインターネット環境にある途上国間とのコミュニケーションにおいても、クライアントのネットワークやマシン環境に合わせて、適正帯域を個別に、いつでも設定変更することが可能で、途中途切れることなく、継続コネクションが可能であった点です。そのため、決められた時間の中で、お互い貴重な時間を無駄にすることがないため、これは使える！と感じて頂いた点にありました。
製造業 様	スタジオBB 支店間でのインターネット 営業ミーティング	共有資料の表示画面に資料を表示させる際、共有するファイルをサーバから個人のPCにダウンロードするため、セキュリティに不安がありました。これを解決すべく、個人のPCにダウンロードさせず、資料を画面に自動キャプチャーさせる仕様を採用しました。（Word、Excel、CAD等のデータをJPEGに自動変換し表示させます。）営業資料など、社内の機密情報漏洩の心配が解消され、今では会議のための出張費と時間が削減できたと好評です。
通信業 様	スタジオBB ASPサービス	スタジオBBを、安価に定額料金で広くご利用頂けるよう、ASPサービスとしてご採用頂きました。多数ある類似プロダクトからスタジオBBが選ばれた要因としては、クライアントに専用ソフトをインストールさせる必要がなかった点にあります。スタジオBBがブラウザとして採用しているMacromedia Flash Playerは、世界のインターネットユーザの90%以上のパソコンにインストール済みです。かつ、フリーのソフトウェアです。エンドユーザ側に、新しいアプリケーションをご利用頂く際に、ストレスを感じさせないのが大きなメリットとなります。